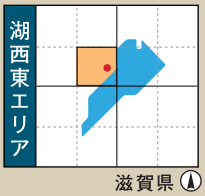
史跡
国指定

清水山城館跡（しみずやまじょうかんあと）

新旭町　平成16年2月27日指定



鎌倉時代から戦国時代にかけて高島郡は、近江源氏佐々木氏の一族で「高島七頭（たかしましちがしら）」と呼ばれる高島（越中）、平井、朽木、永田、横山、田中、山崎の7家が支配しました。清水山城は、その惣領家高島（越中）氏の居城と伝えられ、『信長公記』に「木戸城」と記されている城が清水山城であると考えられています。

当時のできごと	
1368年	足利義満が3代将軍になる
1429年	ジャンヌ・ダルク大活躍
1573年	室町幕府が滅ぶ

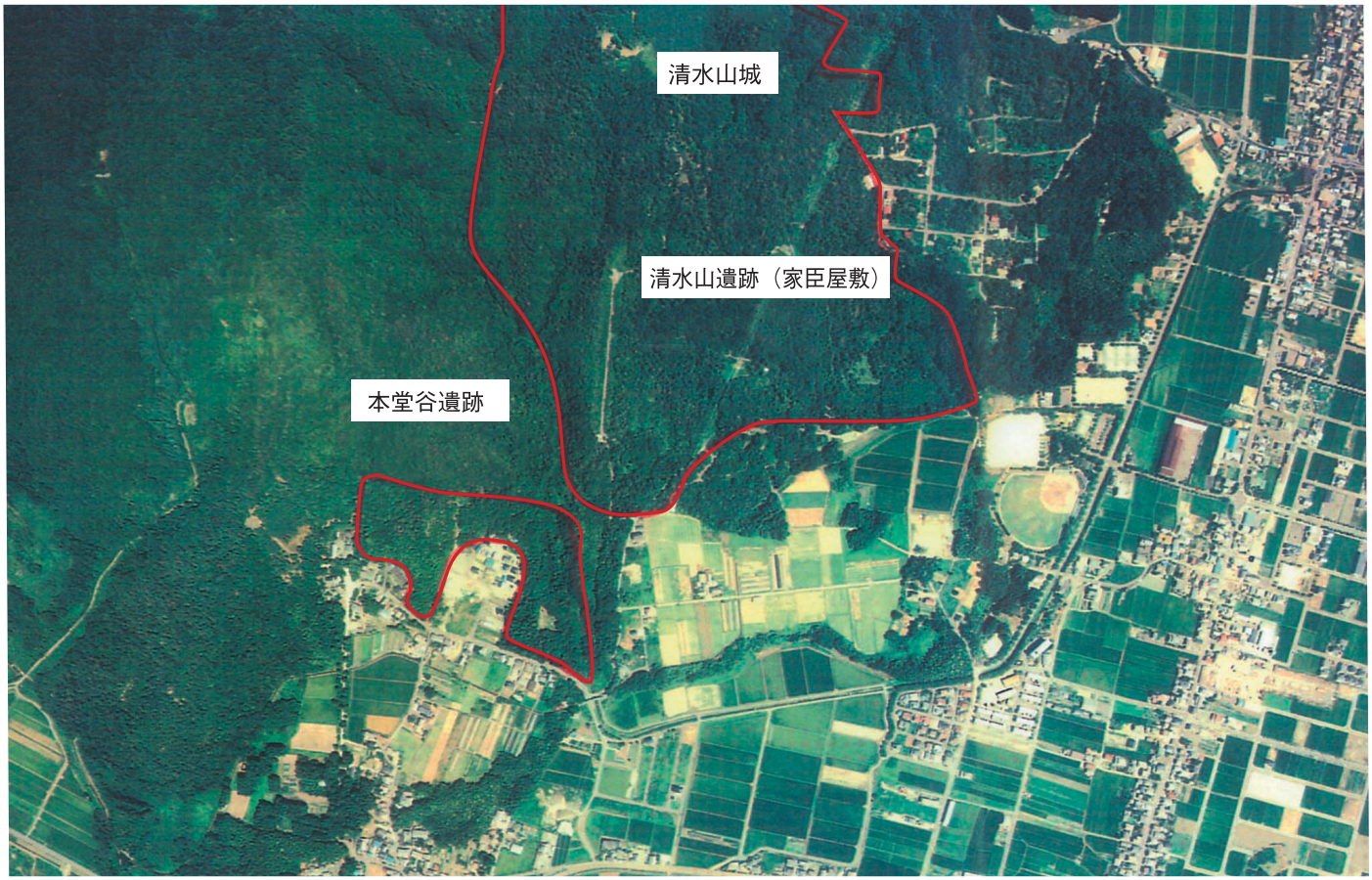
概説

饗庭野（あいばの）台地の東南部に位置する清水山城館跡は、約1km四方にわたる広大な範囲の城郭関係遺跡の総称です。これらの遺跡は、それぞれの性格や立地などから、「清水山城遺跡」「清水山遺跡（家臣屋敷）」「清水山山麓屋敷群」に大きく区分されています。

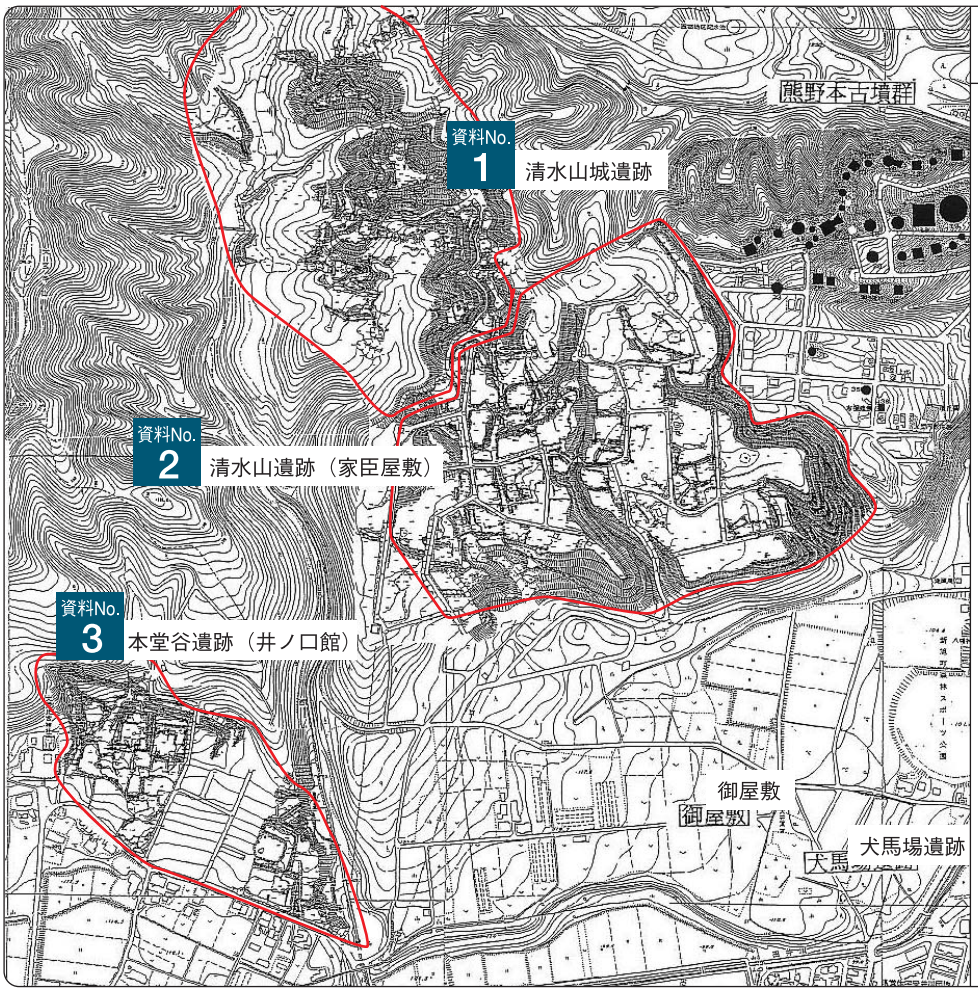
清水山城の中心からは、大型の礎石建物が確認され、生活の様子がうかがえる遺物も出土していて、居住や儀礼の場として使われていたことがわかります。これは戦国時代末期の国人領主の山城の調査にあっては、まれな事例です。この城は、主郭部から出土した土器から、織田信長の高島郡進出頃（元亀争乱）まで機能していたと考えられます。また、本堂谷遺跡の西には佐々木氏の祖先を祀る大荒比古神社が鎮座しています。



清水山城主郭からの遠景



清水山城館跡



清水山城関連遺跡周辺分布図

清水山城館跡全体図

史跡指定対象地域の面積
457,906,74m²



主郭部畝（うね）状空掘群



南東尾根曲輪礎石建物

資料No. 1

清水山城遺跡

最も高い位置になる標高約226mの主郭を中心として、北西・南西・南東の尾根上に階段状曲輪（くるわ）を配置する放射状連郭式の山城です。弱点となる背後には北出曲輪群を配し、防御しています。

主郭のある場所は、高島郡はもとより琵琶湖対岸まで望める絶好のロケーションです。主郭の発掘調査では、かまどや石段を伴う大型の住居様の礎石建物が発見され、建物に用いられた釘や、ここでの生活に用いられた土器、包丁や硯などの用具も多く出土しています。



主郭礎石建物　復元図



清水山城　主郭　礎石建物



主郭　出土土器

資料No.2 清水山遺跡(家臣屋敷)

清水山城遺跡から南に続く山腹一帯にあり、清水寺（せいすいじ）と呼ばれた寺院跡を利用した一族衆、家臣などの屋敷跡と考えられています。

遺跡の中央には大手道と思われる南北に走る道路遺構があり、山城の南東の曲輪群に続いています。登城口には「ダイモン」、敷地内には「西屋敷」「加賀殿」「越中殿」という地名も残っています。土塁や堀で仕切られた平坦地や井戸などの遺構が見られ、礎石建物も確認されています。また、一画には清水寺の遺構と考えられる中世墓群が残されています。





（上）屋敷内井戸
（左）西屋敷礎石建物

資料No.3 本堂谷遺跡(井ノ口館)

清水山遺跡から西ノ谷川を隔てた場所に位置する屋敷群です。東西270m×180mの規模で、各屋敷地は堀と土塁で区画されています。区画が計画的に配置され清水山遺跡と屋敷群と同質の構成が見られることから、清水山遺跡の屋敷群が拡張したものと考えることもできます。西側には佐々木氏の氏神を祀った「大荒比古神社」があります。この神社には「七川（しちがわ）祭」と呼ばれる佐々木氏に由来のある流鏑馬（やぶさめ）や奴振（やっこふり）が行われる祭りが伝わっています。



（上）本堂谷遺跡土橋
（右）本堂谷遺跡横堀



立地と交流ルート

清水山城館跡は、饗庭野と呼ばれる台地上に立地しています。この台地の東麓には、畿内と日本海を結ぶ動脈北陸道（北国街道）が通り、琵琶湖を行き交う船も眼下に見ることができます。また、遺跡の北側の谷に沿った古道は、饗庭野台地を横切り日本海に抜ける近道ともなっています。

この地域は、清水山城館の北東に接して、県下最大級で豊富な鉄製品が出土した熊野本遺跡、高島郡最大規模の古墳群で最古級の前方後方墳を含む熊野本古墳群、西に接して後期古墳群である下平古墳群、南に接して白鳳寺院の大宝寺跡といった、大規模な遺跡が時代を超えて同じ場所に営まれ続ける特殊な場所です。この地が持つ、交流の拠点という地理的な特質のためと考えられます。

［七川祭］

佐々木信綱の子、高信ゆかりの大荒比古神社の祭りで、毎年5月10日に行われます。

例年執り行われる神事は、奴振と流鏑馬です。これは、高信が戦に出陣する前に勝利を神前に祈り、勝って帰った時には、



12基の的と12頭の馬を奉納した故事にちなんでいます。12人の奴姿の若者が、それぞれ1基ずつ的を持ち、その後ろに樽を持った2人が続いて町を練り歩く奴振は、おごそかで、華やかです。また、美麗な狩装束に身を包んだ騎馬武者が、3基の的に矢を放つ流鏑馬が行われる様は圧巻で、その後に競べ馬が始まります。

七川祭は湖西でも随一の祭りとして、毎年盛大に繰り広げられます。

高島七頭　関連年表

西　暦	年　号	事　柄	
1235年	嘉禎元年	佐々木信綱朽木庄を賜う	
1367年 ｜ 1425年	貞治6年 ｜ 応永32年	高島七頭、足利将軍の近習となる	
1444年 ｜ 1449年	文安年間	高島七頭、外様衆として名が見られる	
1492年	明応元年	足利義材、佐々木越中の息子虎千代を近江守護に任命する	
1570年	元亀元年	4月	信長、朝倉攻めのため田中城に泊まる 浅井氏の離反により若狭から朽木越により京へ逃げ切る
		8月	高島衆・一揆衆、浅井・朝倉軍に従う
1573年	天正元年	7月	信長、大船にて高島郡を攻撃。木戸・田中城を攻撃する
		8月	浅井・朝倉氏滅亡
1574年	天正2年	磯野員昌、新庄城主となる	

関連する文化財

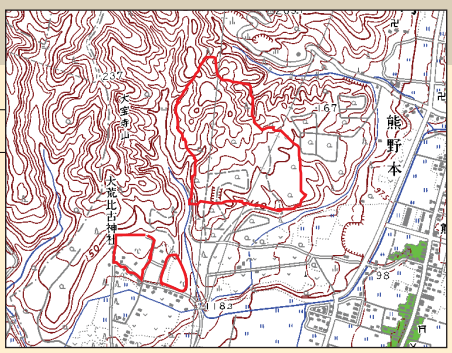
田中城跡（安曇川町）	高島七頭の居城
日爪城跡（新旭町）	古代寺院に起源を持つ城郭。元亀争乱に際し明智光秀に攻められる
打下城跡（高島町）	陸路、水路の拠点に築かれた城。織田信長の高島郡攻略の拠点
田屋城跡（マキノ町）	高島北部を領有する海津衆、田屋氏の居城。北国街道を一望する

もっと深く知りたい

新旭町教育委員会　☎0740-25-8100　高島郡新旭町北畑565

安土城考古博物館　☎0748-46-2424　蒲生郡安土町下豊浦6678

清水山城館跡へのアクセス　JR湖西線新旭駅下車



【参考文献】〔清水山城調査報告書〕新旭町教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月